

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 6 月 28 日

学 長 殿

所属部局・職名 行政政策学類・教授

申 請 者 名 阿部 浩一

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (○学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	小林清治著作集第1巻の刊行
事業実施期間	平成 28 年 10 月 ～ 平成 29 年 6 月
成果の概要	<p>本事業は、本学学芸学部・教育学部において長年研究・教育に携わり、戦国大名伊達氏をはじめとする日本中世史・東北史研究や福島県内の自治体史編さんに多大な足跡を遺された小林清治名誉教授（平成19年没）の、既刊単行本に未収録の論文を取りまとめ、学術書として出版することをめざしたものである。</p> <p>この事業については、伊藤喜良福島大学名誉教授の構想を申請者が引き継ぎ、小林氏の学恩を受け、研究分野も近い研究者有志による編集委員会を立ち上げるかたちでスタートした。当初は全5巻を予定していたが、編集過程で当初の1・2巻分を合冊して第1巻とすることに変更された。そのため、事業実施期間の3か月延長を申請し、許可された。</p> <p>このような経緯のもとに、本学の学術振興基金助成の採択をうけて、『戦国大名伊達氏の領国支配 小林清治著作集1』を刊行することができた。（別紙）に示すように、5部構成、計21編の論文を収載することができた。第1巻は、戦国大名伊達氏研究の第一人者として名をはせた小林氏の業績のうち、『福大史学』などで発表されながら、既刊の単行本には採録されなかった論考で構成されている。これにより、小林氏の伊達氏研究の全貌が明らかとなり、当該研究のさらなる進展に大いに寄与することは間違いない。</p> <p>あらためて本事業の実現にあたり、本学の学術振興基金助成の採択を受けられたことに感謝の意を表したい。</p>

(別紙)

戦国大名伊達氏の領国支配 小林清治著作集 1

小林清治著作集編集委員会編

2017年6月刊 A5判・486頁・上製本・函入

ISBN978-4-86602-998-6 C3321

8800円(税別)

序 章 大名権力の形成

第一部 戦国大名伊達氏とその一族

第一章 伊達氏と奥州探題職

第二章 伊達政宗の奥州王意識

第三章 伊達晴宗夫人とその娘たち

第二部 家臣団構造

第一章 伊達氏における家士制の成立

第二章 晴宗期伊達家中の構成

第三章 伊達家の家法と政宗の家臣団

第四章 戦国大名下級家臣団の存在形態 —伊達家名懸衆の研究—

第五章 戦国大名の新領土支配の態容と武士層の存在形態

—伊達政宗の二本松領支配—

第三部 領国支配

第一章 東北大名の成立 —伊達氏における知行制の成立—

第二章 天文期伊達家臣団の知行分布状況

—「伊達晴宗采地下賜録」による分析一覧—

第三章 戦国期伊達領国の城館

第四章 戦国大名伊達氏の城館

第四部 城下町

第一章 戦国期城下町の成立 —宿地千軒から八丁目城下町へ—

第二章 伊達氏時代の米沢城下

第三章 封建領主の「町」支配の権原

第四章 近世城下町の成立と初期町人の系譜

第五部 村落・交通と商人

第一章 戦国末期奥羽の農民構成について

第二章 戦国期における在家の被収取形態

第三章 戦国期伊達領国の交通について

第四章 奥羽仕置と近世奥州街道